

令和2年7月14日

距離と時間を超え、スマホから故人を偲ぶサービス 「葬想式」リリース

株式会社むじょう

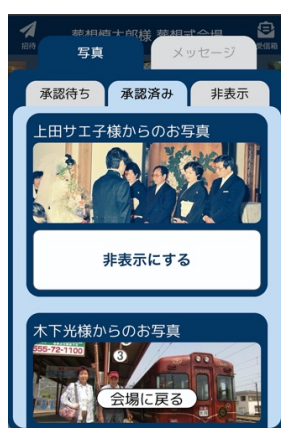
* サービス骨子

葬想式はスマホから写真やエピソードをご親族やご友人と共有し合い故人を偲ぶサービスです。3日間にわたる開式のため、どんなときも、どこにいてもご利用いただけます。

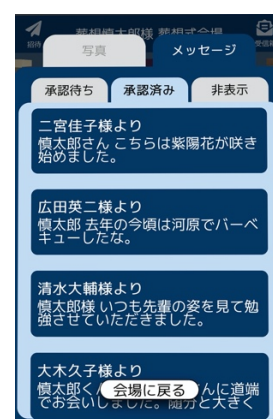
* 機能



会場イメージ (写真1)



写真受信時イメージ (写真2)



メッセージ受信時イメージ (写真3)

1、お写真の共有

メモリアルコーナーでお写真を眺めながら思い出を振り返る空間をスマホ上に再現しました。開式前にご親族がお選びになったお写真が会場 (写真1参照) に掲載され、参列者はそちらのお写真をご覧くださいことができます。また、参列者も喪主の承認が得られたものに限り (写真2参照)、写真を掲載することができ、故人のご友人がお持ちで、ご親族がお持ちでないお写真をご親族にお届けできます。思い出の写真を囲み、思い出をご追懐いただくことができます。

2、故人宛のメッセージの共有・思い出のエピソードの共有

通夜振る舞いで思い出のエピソードを語り合うような空間をスマホ上に再現しました。葬想式準備の段階で、ご親族から故人宛のメッセージやエピソードが会場に掲載され、参列者が参列した際ご覧になれます。参列者がお書きになったメッセージは喪主が承認した場合、メッセージ一覧に掲載され、どなたでも閲覧可能になります。ご親族の判断で掲載が認められないメッセージ (内容が不適切である等) が届いた場合も非表示にすること (写真3参照) で対応が可能です。想いを言葉にし、懐かしい思い出を共有することで、大切な人を亡くした悲しみを少しずつ昇華していきます。

* サービス意図

昨今の Covid-19 感染症流行や災害の頻発といった未曾有の社会状況の中で、葬儀自粛や葬儀が執り行えないといったニュースを散見するようになりました。また、近年、家族葬・直葬の増加に伴い、ご遺族は故人様のお旅立ちをゆっくりとお見送りできる一方で、故人様のご友人のお別れの機会が失われつつあります。

葬儀とは、故人に想いを馳せ、遺された人々が悼む心を癒やしあう。思い出を回想し、これからの生を見直す。想いを昇華し、前を向いて生きていくための、感情を見渡す足場であり、大切な儀式であると考えています。葬儀が担ってきた役割が失われつつある現代において、別れの機会を諦めることなく、死という節目に立ち会う人々の感情の行き場となるよう、オンラインでの偲ぶ会という新しい選択肢をつくりました。

* 葬想式 HP

「距離と時間を超えて 故人を偲ぶ 葬想式」 <https://www.sososhiki.jp/>

* 開発メンバー

CEO 慶應義塾大学総合政策学部 2年 前田陽汰



2000 年生まれ。島根県立隠岐島前高校卒。19 年慶應 SFC 入学。清水唯一朗オーラルヒストリー研究会所属。NPO 法人ムラツムギを立ち上げ「まちの終活」を唱える。その後、株式会社むじょうを設立し、「節目」に向き合う事業を立ち上げている。

CTO 慶應義塾大学環境情報学部 2年 佐々木雅斗



2000 年生まれ。通称 あっふるささき。N 高等学校出身。中高 6 年間のディベート部の経験からオンラインディベートサービスの開発をきっかけにプログラミングを始める。その後、音楽アプリの開発（未踏ジュニア'17 採択）。高校時代、bouncy 動画ライターとしてアメリカ東西海岸のスタートアップを取材。19 年 4 月慶應 SFC 入学。UI の研究する増井俊之研究会所属。

CDO 島根県立隠岐島前高校中退 杉村元



2001年生まれ。小中学校での生活に違和感を抱き島根県立隠岐島前高等学校へ島留学。高校二年時にはクラウドファンディングを行いデンマークで北欧の教育を学ぶ。その経験経済格差、教育格差を体感するためにインドネシアに留学。帰国後、島根県立隠岐島前高等学校中退。

***お問い合わせ**

TEL : 050-3138-3737

Email : info@sososhiki.jp

運営会社： 株式会社むじょう

本拠地：東京都目黒区 役員：代表取締役 前田陽汰